

外国人観光客を対象にした自然観光地に対する選好評価

-日本の「国立公園満喫プロジェクト」に着目して-

Understanding Foreign Tourists' Preferences for Natural Tourist Destination

-A Case Study of "Project to Fully Enjoy National Parks" in Japan-

○殷子鈞*・趙心童*・井元智子*

Zijun Yin, Xintong Zhao, Tomoko Imoto

1. はじめに

日本は少子高齢化が深刻化しており、インバウンドの拡大が不可欠である。特に国立公園はインバウンドの重要な位置に付けられ、「国立公園満喫プロジェクト」が推進されている。一方、国立公園の外国人訪問者は富士山に集中しすぎており、今後はインバウンドの地方分散が重要な課題である。そのため、地方国立公園に将来の観光客を誘致する能力を強化するためには、訪日外国人客の需要に的確に対応した目的地属性を整備することが必要である。安ら (2017)では、施設整備の重要性に焦点をあて、中国人観光客の選好を明らかにした。しかし、潜在的な観光客を対象とし、自然観光地が保有する多くの属性を比較評価する研究は見当たらない。

よって、本研究では潜在的な外国人観光客を対象に、国立公園が持つ属性に対する選好を評価することに着目し、①国立公園の訪問を検討する際の属性に対する重要性順位、②属性の重要性に対する個人の多様性、の二点を明らかにすることを目的とする。結果は、今後のインバウンド対策に資することが想定される。

2. 分析方法

外国人観光客の選定について、コロナ前（～2019年）に、訪日外国人のうち30%以上を占めている中国人観光客を対象とする。さらに、日本の自然観光に興味があると回答した人を調査対象者とした。調査は2024年3月8日から18日の期間に、オンラインで実施した。有効回答数は750である。

本研究ではオブジェクト型のベスト・ワースト・スケーリング(Finn & Louviere, 1992)を適用し、外国人観光客による国立公園の目的地属性に対する選好を推定した。「国立公園満喫プロジェクト」及び既往研究を参考に、10項目の属性を選出した(図1)。各項目を比較するために釣合い型不完備ブロック計画(BIBD)を用いて選択セットを作成した。BWSの分析には、カウンティング・アナリストを適用した。各選択肢が、「最も重要である項目("Best")」に選ばれた回数から「最も重要ではない項目("Worst")」を差し引くことでB-W

* 東北大学 Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University
〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 E-mail: zijun.yin.q8@dc.tohoku.ac.jp

スコアを求める。また、個人の BW スコアに対して、Ward 法に基づく階層クラスター分析を適用した。

3. 分析結果と結論

図1は10項目の B-W スコアを示す。外国人観光客が国立公園の訪問を検討する時に、最も重視する項目は「自然観光資源の充実」、最も重視しない項目は「地域コミュニティの協力」であった。基本観光環境の整備は4番目に位置している。これらの結果より、外国人観光客は自然そのものや文化・歴史的観光資源、地元料理など、現地のみで体験できる属性を重視する傾向がある。また、「交通アクセスの利便性」が低く評価されたことは、インバウンド効果を地方国立公園に広げることが可能であることを示している。

さらに、クラスター分析により得られた2つのクラスターにおいて B-W スコアに基づき10項目の順位を付けた(図2)。2つのクラスターにおける10項目の B-W スコアは有意に異なっており、外国人観光客は目的地属性に多様な選好を持っていることが明らかになった。クラスターごとの個人属性の特徴は、下記である。

1. 年齢が高い男性、収入が相対的に低い
2. 年齢が低い女性、収入が高い

1は観光資源と当地体験を重視し、環境施設の整備と安全性を重視しない、2はトラブル時の対応と環境施設の整備をより重視し、レクリエーションの興味は低いことが明らかになった。

本研究の結果を踏まえ、今後は自然観光地のインバウンド観光効果を地方に広げるため、自然観光地における観光資源の保全と料理などの現地体験の充実が最も重要であることが明らかになった。さらに、観光地の魅力を発信する際に、個人属性を踏まえ、それぞれに必要な観光情報を発信する必要性を示した。

参考文献

An, K et al. (2017). Using Best-Worst Scaling to Investigate Preferences of Chinese Tourists for Visitor Services at National Parks.

Finn A, Louviere JJ (1992). Determining the Appropriate Response to Evidence of Public Concern: The Case of Food Safety. J. Public Policy Mark., 11(2), 12-25.

環境省. 国立公園満喫プロジェクト. <https://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/> (2024/6/6)

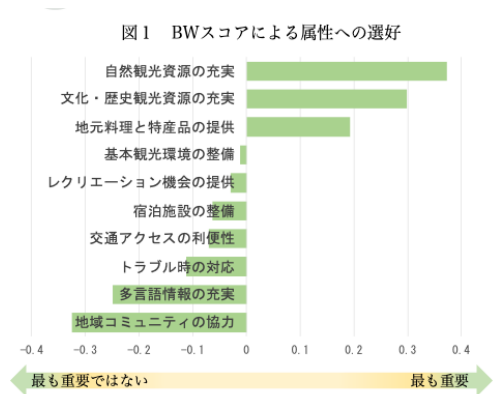


図2 クラスターごとの属性への選好

	クラスター1 378 (50.4%)	クラスター2 372 (49.6%)
最も重要	自然観光資源の充実	トラブル時の対応
	文化・歴史観光資源の充実	自然観光資源の充実
	地元料理と特産品の提供	基本観光環境の整備
	レクリエーション機会の提供	文化・歴史観光資源の充実
	基本観光環境の整備	地元料理と特産品の提供
	交通アクセスの利便性	宿泊施設の整備
	宿泊施設の整備	交通アクセスの利便性
	多言語情報の充実	多言語情報の充実
	地域コミュニティの協力	地域コミュニティの協力
最も重要ではない	トラブル時の対応	レクリエーション機会の提供

注：色付き項目はBWスコアが正の結果を意味する